



今月の援農状況

Let's Activate Area AGRI

○ 連日の酷暑の中 引き続きの定常作業に参加いただいた他 今月の特記情報としては 下記のようなものがありました。

- ・ブルーベリーの収穫 3軒の農家 テレビの取材がありました
- ・食用桑の収穫 初収穫に参加 来年以降飛躍的に拡大見込み
- ・稲作応援 はげかけ 市内にある水田地帯の一か所

遠い日の思い出

小比企町 吉澤勝之

「うめのき畑」の周りに彼岸花が咲き始め、漸く秋の気配を感じる。畑で雑草と格闘しながら、ふと、子供の頃を思い出す。公務員だった父は家から5キロも離れた畑へ休日の度に出掛けていた。当時、小学生の私は畑の手伝いにしばしば駆り出された。夥しい雑草の草むしりに辟易し、はたまた肥糞(人糞)二つ、リヤカーに乗せて引く父の後ろを押して歩く姿を友達に見られたらどうしようと泣きべそかいた。今思えば“食う”ために父は必死だったんだと。

今、毎日が日曜日の私は“食う”ためではなく土を懐かしみ、“育てる”喜びに浸りながらいそいそと畑に通う。

「遠い日の 教えに感謝し 墓参り」



農園・SPP・イベント便り

- ☆ 農家の計画・管理・指導のもの为主体的応援作業
- ☆ 技術体得・会員交流・遊休地対応の活動



食用桑葉と富所農園
里芋の中で



☆カ 石

さつまいもの草からの救出作戦は ギリギリ 間に合ったか。猪におそわれないことを期待しつつ 10/25 収穫予定。

☆うめの木

さつまいをためし掘り — good! 種から育てたねぎも 川原調。個人耕作応援の区画は 全て充足。来年度以降 もっと増やしてほしいとの要望もあり 検討中。

☆すずらん

モロヘイヤは数回の収穫を経てしん身長よりも高く成長。9月上旬 試しに 草刈機で 地上1mほどでカット — 見事 発芽しこれまた good。酷暑の今年だけの事象か。

「身にしみて 大根からし 秋の風」 (芭蕉)



雑草との付き合い方 2/2

・除草の対応

A は花の咲く前に抜き取るか、大型のものでは刈り取るだけで退治できる。花が咲いてから除いても、放置して置くと追熟して発芽能力が出来てしまう。

B は農閑期の冬に地面にべったり生えているロゼット状のときに抜き取ると処理し易い。

C は最も厄介な草で、一たび侵入されると根絶は困難だ。これらはマルチを敷いても、根にエネルギーを貯えているので突き破って出てくる。常に耕起を繰り返していれば、だんだんに弱ってくる。

これら3通りの草も、地中に埋れた種子が有る限り発生するので、毎年根気良く除くことだ。以上は除草剤を使わないための方法だ。

・雑草の害のいろいろ

畑仕事は雑草との戦いだ。放置するとどんな被害が出るか考える必要がある。雑草は作物の肥料・水分の横取り、病虫害の源などあるが、最大なのは被圧、つまり日陰になることだ。そのため特に丈の低い作物、例えば人参の除草は欠かせない。トウモロコシの高茎の作物では、初期の除草だけで、あとは放置しても収量は変わらないという研究もある。しかし種子が沢山できると後作に影響する。

元来土地は植物が生えて当然な場所で、雑草の生え具合を見れば畑の良し悪しは分る。雑草も生えない土地の方が不気味だ。作物だけを生やそうとする人間の都合通りに行くために努力が必要なのは当然だと思って草と付き合いがいかねばならない。(文責 : すずしろ22 会員 吉山寛)

★訂正 8月報『雑草との付き合い方1/2』の右上から15行目 『春巻き野草』は『春まき野菜』の間違いです。訂正いたします。

事務局からのお知らせ

人材—農家需要 と市民意欲のマッチング

(1) 暑さ寒さも彼岸まで

今年の夏は やはり記録的な暑さでした。農作物の被害も甚大でした。遅まきながら お見舞い申し上げます。台風が雨と秋の気候を連れてきてくれました。多忙期到来です。

(2) さつまいも掘イベント

3か所で栽培していますが いずれも 期待できそうです。『援農プロジェクト・イベント予定』にも記載していますが 10/9 梅の木 10/25 カ石です。ご参加方。

(3) 収穫祭

10月30日(土) こどもキャンプ場で開催します。子供さん向けのイベントを昨年同様に予定しています。お問い合わせ ご参加ください。詳細別冊 ご連絡。

<発行 会報紙編集会>

合津 highz_85@cosmos.ocn.ne.jp 飛田 emiko_tobita@ybb.ne.jp 川口 leaf-river-86@nifty.com